

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 16 日 (2019.5.16)

【公開番号】特開 2016-226262 (P2016-226262A)

【公開日】平成 28 年 12 月 28 日 (2016.12.28)

【年通号数】公開・登録公報 2016-070

【出願番号】特願 2016-76694 (P2016-76694)

【国際特許分類】

H 0 2 K 1/27 (2006.01)

H 0 2 K 21/14 (2006.01)

H 0 2 K 1/22 (2006.01)

【F I】

H 0 2 K 1/27 5 0 1 A

H 0 2 K 1/27 5 0 1 K

H 0 2 K 1/27 5 0 1 M

H 0 2 K 21/14 M

H 0 2 K 1/22 A

H 0 2 K 1/27 5 0 1 G

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 8 日 (2019.4.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

長さ方向である第 1 方向にマグネット接触面が複数設けられる第 1 ロータコア；  
前記マグネット接触面と向かい合うように位置する複数の第 2 ロータコア；  
前記第 1 ロータコアと前記第 2 ロータコアの間に位置する複数のマグネット；および  
相互隣接する前記マグネットの間に配置され、前記第 2 ロータコアおよび前記マグネット  
を固定し、前記第 2 ロータコアの外周面に密着するヘッド部を含む隔壁部；  
を含む、ロータ。

【請求項 2】

前記隔壁部は、  
一端部が前記第 1 ロータコアに結着する結着部；および  
前記結着部から延びて、相互隣接するマグネットの一侧を支持する支持部；  
を含む、請求項 1 に記載のロータ。

【請求項 3】

前記結着部は、  
前記第 1 ロータコアに設けられる結合溝に挿入される、請求項 2 に記載のロータ。

【請求項 4】

前記結着部は、  
前記結着部と前記支持部の境界面の第 1 幅を基準として、  
前記第 1 幅よりも広い第 2 幅を具備する断面を有する形状である、請求項 3 に記載のロー  
タ。

【請求項 5】

前記結着部は、

前記第 1 ロータコアの中心部に向かうほど幅が広がる構造である、請求項 4 に記載のロータ。

【請求項 6】

前記隔壁部は非磁性体で形成される、請求項 2 に記載のロータ。

【請求項 7】

前記ヘッド部は、

相互隣接する前記第 2 ロータコアの外周面の一領域を覆う構造である、請求項 2 に記載のロータ。

【請求項 8】

前記第 1 ロータコアの中心を基準として、前記ヘッド部の外周面が具現する曲率半径 ( $R_2$ ) が

前記第 1 ロータコアの中心で前記第 2 ロータコアの外周面が具現する曲率半径 ( $R_1$ ) 以下に具現される、請求項 7 に記載のロータ。

【請求項 9】

前記第 1 ロータコアおよび前記第 2 ロータコアは非積層型焼結構造物である、請求項 1 に記載のロータ。

【請求項 10】

モータハウジング；

前記モータハウジングに配置されるステータ；

前記ステータの内側に配置されるロータ；および

前記ロータの中心を貫通するシャフト；を含み、

前記ロータは、

長さ方向である第 1 方向にマグネット接触面が複数設けられる第 1 ロータコア；

複数の前記マグネット接触面と向かい合うように位置する第 2 ロータコア；

前記第 1 ロータコアと前記第 2 ロータコアの間に位置する複数のマグネット；および

相互隣接する前記マグネットの間に配置され、前記第 2 ロータコアおよび前記マグネットを固定し、前記第 2 ロータコアの外周面に密着するヘッド部を含む隔壁部；

を含む、モータ。

【請求項 11】

前記モータは、

前記隔壁部の一端部が前記第 1 ロータコアに挿入される結着部と前記結着部から延びて、

相互隣接するマグネットの一側を支持する支持部および

前記支持部と連結されるヘッド部を含む構造である、請求項 10 に記載のモータ。